

60295

教科書文庫

6
720
34-1950
01304 49958

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

10 小国541
春陽

文部省検定済教科書

小学 五年 書 方

教科書文庫
6
720
34-1950
0130449958

広島大学図書

0130449958

小国541
Sh996

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



東京春陽堂發行

中央図書館

広島大学図書

0130449958



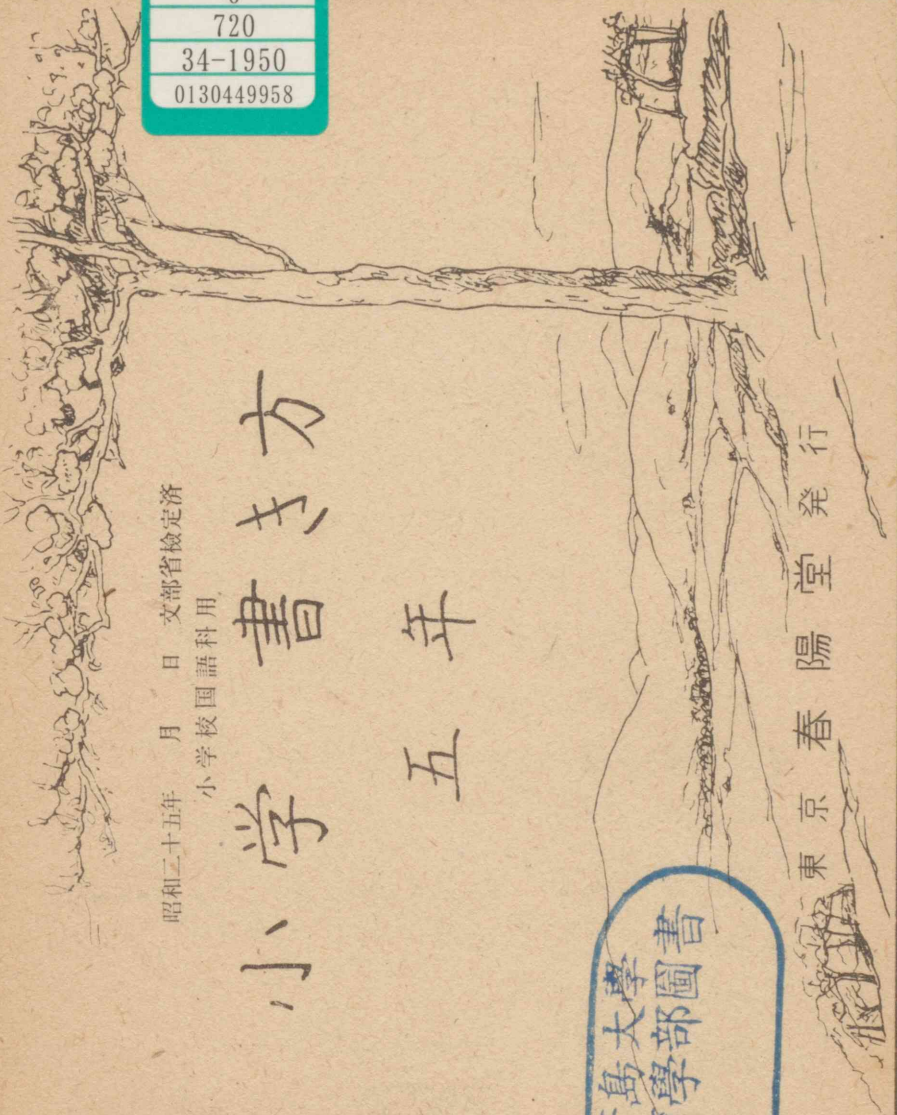
教科書文庫

6

720

34-1950

0130449958



昭和二十五年 月 日 文部省検定済
小学校国語科用

方
書
志
小
学
五
年

東京 春陽堂 發行

贈
寄

広島大学図書

0130449958



広島大學
教育部圖書

まえがき

一、この本は、皆さんが、正しく、早く、美しく字を書く力をつけるためにつくったものです。

二、次のことに気をつけて練習しましょう。

1. 説明をよく読んで、目あてをはつきりさせてから書きましょう。
2. しせい、ペンの持ちかたに気をつけましょう。
3. 一度書いたら、手本の字とくらべてみてまた書きましょう。
4. 説明を読んで、自分で考え、進んでやってみましょう。

三、少しずつでも、たびたびけいこすれば、それだけ、じょうずになります。毎日つづけてけいこしましょう。

四、字は心の鏡で、字をみればその人がらわかるといわれています。手本をみて練習し、基本になる力がついたら、自分のすきな美しさが自分の書いた字にあらわれるようにつとめましょう。

目次

一 学級日記	六 文字のつながりと調和
二 ペン字の書き方	七 切抜帳、抜書帳をつくろう
三 文字の形をよくする方法	八 写生——作文の態度
四 覚え書	九 文化の日になんで——新聞社のそしき
五 プログラム ——母の日子ども会	十 色の研究
六 体格・体力表	十一 格言を集めよう
七 体に気をつけよう ——字を書く時の姿勢	十二 グラフの書き方
八 文のなおし方	十三 音楽によく出ることば
九 見学報告書(一)	十四 国民の祝日
十 見学報告書(二) ——立っていて学習帳に書きとめる	十五 文字のくせと書風
十一 標語集め	十六 年表の書き方
十二 スポーツの秋	十七 対話——人形しばい
十三 天気予報 ——聞いて書く書き方	十八 類字集め
十四 ひらがなのけいこ	十九 卒業生を送る歌
十五 私の家	二十 最上級生になる

一 学 級 日 記

月 日 () 晴 日 直 浅 井 勇

朝 礼	校庭。自治委員任命式。校長先生から学校自治についてお話があった。
学 習	<p>1. 学級自治会(九・〇〇一〇・〇〇) 自治委員からあいさつがあった。 「学校自治をどのようにしたらよいか。」 五年生としての心がけを話し合う。</p> <p>2. 単元学習「生活の合理化」(一〇・一五・二二・〇〇) 研究問題の発表(個人・分団) 研究グループの相談</p> <p>3. 人口調べ「グラフ」(二・〇〇一三・〇〇) 4. 言語「個別学習」(三・〇〇一三・二〇) 5. 体育「リズム体操」(三・二五・三三・〇〇)</p>
清 整	良好。教室とろう下に花をかざる。(二はん)
家庭学習	「生活の合理化」研究方法
反 省	自治会で相談したように、五年生として努力していきたい。

○学級日記のよい形式を考えよう。

月 日 () 晴 日 直 浅 井 勇	
朝 礼	校庭。自治委員任命式。校長先生から学校自治についてお話があった。
学 習	学級自治会(九・〇〇一〇・〇〇) 自治委員からあいさつがあった。
清 整	良好。教室とろう下に花をかざる。(二はん)
家庭学習	「生活の合理化」研究方法。
反 省	自治会で相談したように五年生として努力していきたい。

二 ペン字の書きかた

○用具

ペン先、ペンじく、インク、すい取紙、用紙。
ペンは使いおわったらよくぬぐっておく。

○ペンの使いかた

1. ペンは、軽く持ち、あまり下を持たない。
2. ペンは、内側を下方に向けて、ペン先が紙の上に平らにつくようにして書く。
3. ペンは、なるべく軽く運んでいく。

○姿勢

1. むねをつくえにおしつけないようにする。
2. あまり目を低くさげず、三十センチくらいあくようにする。
3. 左手は紙の上へのせ、左ひじを前にはらないようにする。

減 減 庭 庭 庭

内側を下方に向けて、ペン先が紙の上に平らにつくように書く。

左手は紙の上へのせ、左ひじを前にはらないようにする。

衣食住。家庭学校社会

温注活消法漁港減満演

三 文字の形をよくする方法

1. 変化をつけて書くこと。

三 三 三 三
責 手 理 詩

2. へんとつくりの関係を考えること。

建 多 憲

3. 間かくを同じにすること。

私 味 語 連

4. 中心の位置を考えること。

中 下 不 等

5. 字の大体の形を考えて書くこと。

国 月 衣 際

○はやく生き生きと書けるようにするには、だんだんペン先のはずみを利用して書くとよい。

はずみを利用して書く。

変化ありと 責 手 理 詩

間かくを同じに 建 多 憲 簡

へんとつくりの関係 私 味 語 連

中心の位置 中 下 不 等

字の大体の形 国 月 衣 際

四 覚 え 書

覚え書は、ノートや手帳に心構えのために、要点を書いておくもので、いろいろの場合に使われる。

- 日常生活で、友だちと約束したこと。
- 一日や一週間の学習の予定。
- 見学や遠足、運動会などの諸注意。
- 見学の時、調査したことや、聞いた話の要点。
- 友だちに伝えたい話の要点。自治委員会などでできたことなど。
- 心にうがんだ詩やうた。
- 研究発表の要点や順序など。

このほか、いろいろの場合に書きとめておいた方が便利なことが多い。

覚え書を書いておいて、物事をわすれないようにしよう。また、仕事の順序を考えよう。

覚え書は、正しい美しい字で、速く書けるようにしよう。

五月二日

- 一、分団学習—住居の歴史を調べる。
- 二、子どもの日の計画。ポスターをかく。
- 三、北海道のおじに手紙を出す。

研究発表の要点(五月六日)

- 一、研究の目的。 二、研究問題。
- 三、調査研究の方法、参考資料。 四、結果。
- 五、興味を感じたこと、残った問題。

五 プログラム — 母の日子ども会

五月の第二日曜は、国際的な行事である母の日である。子ども会を開いて、おかあさまに感謝し、おかあさまをおなぐさめしよう。

子ども会のプログラムをつくって、おかあさまをご案内しよう。プログラムを見やすく美しく書くことが大切である。

○つぎのおかあさまをたたえる詩を美しく書いて、おかあさまにささげましょう。不幸、おかあさまをなくしたかたは、みたまにささげましょう。

人の心の畑にきた、いちばん美しい花
 天と地にかがやくものの中で、
 いちばん清らかな、すみきただま、
 それは、おかあさまの愛です。
 わたしをまもるためには、
 どんな困難も戦う、あついで。
 ひくがばい、おきな子のたすきも、
 もももらさな、い、る。有。
 わたしのためには、
 いばらの道をもふみわけた、あつ足。

私たちの幸福のいずみ、おかあさま。
 こん晩、夕飯の後で、子ども会を
 開きます。どうぞおたのしみください。

プログラム

- 一 母の歌 順子・政一・憲二
- 二 プレゼント 感謝のこぼれ 順子
- 三 作文ろい読 憲二
- 四 七つのかぎ 政一
- 五 人形しばい「幸福の王子」 順子・政一

六 体格・体力表

体格と体力の検査をしよう。どういうことについてしたらよいか、皆で相談してきめよう。かかりをきめておたがいに測定しよう。

測定したら各自の表をつくろう。

検査に使う表をつくる。

一学期一回ずつ測つて、どのくらい進歩するか記録していこう。

左の表はその参考である。

体格・体力表		一学期	二学期	三学期
身長 (cm)		134.3		
体重 (kg)		29.2		
胸囲 (cm)		63.8		
100m (秒)		16.0		
1000m (分)		4.20		
とぶ力 (m)		4.15		
投げ力 (m)		42.50		
けんか (回)		5		
月 日		5/12		
五年三組 川島正一				

体格・体力表

身長	134.3cm			
体重	29.2kg			
胸囲	63.8cm			
走力 (100m)	16.0秒			
、 (1000m)	4.20分			
とぶ力 (はばとび)	4.15m			
投げ力 (ボール投げ)	42.50m			
けんすい力	5.回			
昭和 年 月 日 (川島正一)				

七 からだに気をつけよう

— 字を書く時の姿勢

- 字を書く時の姿勢に気をつけよう。
- 1. こしかけを十分前にひきよせる。
- 2. からだを曲げないように気をつける。
- 3. 下はらにやや力がはいるようにする。
- 3. 両あしは、そろえてしぜんにおき、ゆかに平らにつける。
- 4. 目と用紙の間は、三十センチぐらいはなして書く。
- 5. 左手で紙をおさえ、左ひじをはらなないようにする。



筆順

衛 イロナリ

防 アノ

医 イタシ

よい字はよい姿勢から。

衛生保健注意予防運動

水泳休息身体検査消化

伝せん病医師看護婦

八 文のなおし方

文が書けたら、くりかえし読みなおして、はじめに書こうと思つたことが十分書かれているか考えてみる。

ことはや、ことばづかいや、いい表わし方をなおしていく。いらぬ所をとつたり、たりない所をいれていく。

1. いらぬ所を||で消す。
2. なおす所は、||で消してその右側に書く。
3. たりない所を{このやうにしていれる。

~~書~~ ~~き~~ ~~た~~ ~~は~~ ~~や~~ ~~は~~ ~~文~~ ~~や~~ ~~詩~~ ~~が~~ ~~た~~ ~~ま~~ ~~つ~~
 たので、^{ゆめにまで見た}自分の文集をつくつ
 た。
 読みかえしてみると、とても
 も楽しい。ことばの記録は、
 心の^{アルバム}写真だと思つた。

文や詩がたまつたので、
 ゆめにまで見た自分の文集
 をつくつた。
 読みかえしてみると、と
 ても楽しい。ことばの記録
 は心のアルバムだと思つた。

九 見学報告書(二)

○現場学習に行くのには、目的をはつきりつかみ、問題と質問をきめて行くことが大切である。計画をしっかりとてなければ、よい結果は得られない。

○見学が終わったら、報告書を書こう。

1. 見学で集めた、いろいろな資料を分類する。
2. 参考書や、地図・図表・統計・写真・標本などをよく見て、見学したことと比かく研究する。
3. 見学した時に、聞いた話を書いたノートや覚え書を整理する。
4. 調査研究を整理して、順序よく、わかるように書く。

○報告書をみんなで発表し合って、問題が解決されたかどうか話し合おう。

〔設問〕

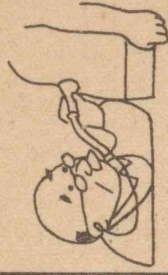
○報告書をおたがいに見せ合って、美しくわかりやすく書けたのを選ぼう。

ぼう織工場の見学

1. 綿をばらして、ローラーにかける。
2. ローラーの回転につれ適当な厚さにはとどめて出てくる。
3. 綿はごみを取りのけられ、うすい綿になって出てくる。
4. うすい綿はいくつかの綿の列になり、それが太いひもになって出る。
5. 精ぼう機にかけて、細糸にしていく。

十一 標語集め

受けよう



健康診断

標語をつくろう。

標語はポスターに書いたり、私たちの黒板に書いたりして、私たちの生活の目あてとしよう。

伝せん病は文化のはじ

物を大事にむだなく使え

図書館は特に静かに

人権尊重。平和国家

- 標語を集めたり、自分でつくったりしよう。
- 下の練習ができたなら、右に書いてある標語を見て書いてみよう。
- ポスターを書こう。ポスターに書く時には、字体や色のつりあいを考えよう。

再建権義務 らーに。まーく。たごん。まごん。まごん。

夏の光にまたえよ体。

文化の力で祖国再建。

権利の前に義務があり。

理想あると云へ進歩あり。

十二 スポーツの秋



健全な精神は健全な身体に宿るといふことわざがあるように身体の健康と精神の安定とは深い関係をもっている。

スポーツは、健康増進のほかに、規則（ルール）を守る心、公明正大、明らうで快活な心、協同、にんたいと努力などいろいろな精神を育てていく。

秋は燈火親しむといわれ、勉強に身のいるときでもあるが、また、スポーツにはころよいときでもある。

いろいろなスポーツをやってみよう。

○いろいろなスポーツの種類をしらべてみよう。



身体の健康と精神の安定とは深い関係をもっている。

ベース・ソフト・ハンド・バレー・バスケット・ギック・テニス・サッカー

健康増進。規則を守る。公明正大。明らう快活協同にんたいと努力などの精神。

十三 天気予報 — 聞いて書く書き方

○聞いて書く書き方

私たちの生活の中には、人から話を聞いたことや、ラジオの放送や、読んでもらったことを聞いて書くことが多い。聞いて書くことになれるように。人にいつてもらって速くまわがえないように書けるように、くりかえし練習してみよう。

○つぎの天気がいきょう、天気予報を人にいつてもらって練習をしよう。

天気がいきょう 九月二十日発表

高気圧の中心が、本邦の東方洋上にさり、低気圧が黄海東部に出てきたので、本邦はいつぱんにうすぐもり、またはくもりで、九州では雨のふっている所もあります。関東地方はうすぐもり、または高くもりとなりました。

東京地方の天気予報、今晚は南のち北よりの風くもり、所により一時小雨。明日は北よりの風、くもり、朝夕時々小雨、日中は晴れまがあります。

東京地方の天気予報

今晚は、南のち北よりの風、くもり、所により一時小雨。

明日は、北よりの風、くもり、朝夕時々小雨、日中は晴れまがあります。

本日の最大風速 南毎秒六メートル

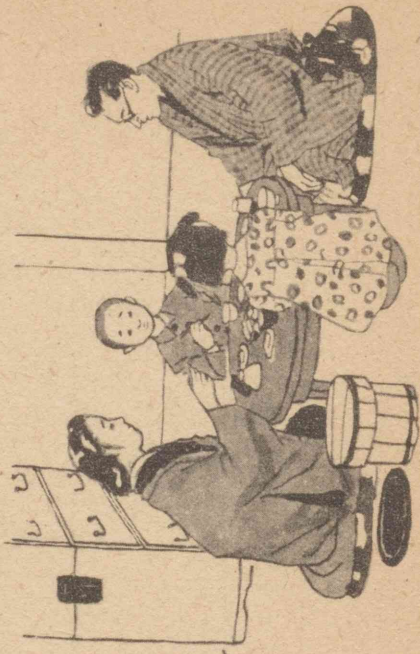
最高気温 二十六度

最小しつ度 五十五%

十五 私の家

自分の家の家族や、家族の仕事を調べよう。

家の間取図を下の方眼紙に書いて、へやの名を書きいれよう。できたら、へやのぐあいよくできている所、不便の所を調べよう。



○めいめいの家の間取図を下に作図し、室の名を記入しよう。

母 くとこ
姉 くとこ
居 くるま
閑 しつ かん

父	母	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	自分		
居間	・	茶の間	・	客間	・	応接				
室	・	書さい	・	玄関	・	ろ	う	下		
台所	・	便所	・	風呂場	・	物置				

うちの大きさによって、一目もりを一簡にするか半簡にするかきめる。

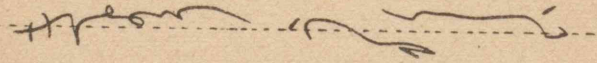
十六 文字のつながりと調和

文字は、形はきれいでいても、氣持の上では、つぎの字につづいていることが、大切である。特につぎのようにすることがある。

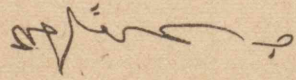
1. 文字を大きくしたり、小さくしたりして、変化をつけ、しかもそれが全体調和がとれるようにする。



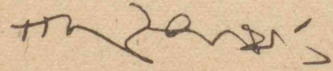
2. 中心の線をかえる。



3. 字をのばしてつづけやすくする。



4. 字をちぢめてつづけやすくする。



5. 全体の調和をよくするために、のぼしたりちぢめたりする。

きききは、
 道にまじり、
 なるべし、
 なるべし。

かきぬに、
 しし降る秋雨に、
 ぬはふは、
 かおも高は、

十七 切抜帳、抜書帳をつくろう

○新聞の切り抜き・抜き書き

新聞記事のうち、重要なものを選んで、切抜帳（スクラップブック）や、抜書帳（書いてあることの要点を書き抜く）をつくろう。新しい日本の歴史の資料となっていく。

統計や、図表、写真など研究の参考資料になるものも発表されるから、これらも切り抜いてはつたり、抜き書きしていこう。

○参考図書の抜き書き

私たちが研究をしていく時、参考書の要点を抜き書きして、研究の参考にすることが多い。また、研究のほかにも読書をしていて、気に入ったことばや、表現のしかたに出会うことも多い。抜書帳をつくって、いろいろの場合、参考になることを抜き書きしていくことは、おもしろいことであるし、便利なことでもある。

雪と交通

。わらぐつ。スキー。そり

。かんじき（竹や木をおりまけて丸輪にしたの）

。かん木（家の軒を道に長く突き出して
柱で支えたえだもの）と雪のトンネル

。雪むけの汽車（ラッセル車・

ロータリー・アックレー・ジョルダンが）

。かたむけ（防雪林・レールのおおい
山のしや面にかたむけをつくろ）

十八 写生—作文の態度

写生というと、風景や静物の写生を思い出すことであろう。実際のありさまを、ありのままに書き写すことである。生き生きと写し出すといつてもよいであろう。

写生は、そのまま作文についてもいえることである。よい作文は、まず何といつても作者自身の真実を表現していなくてはならない。真実な生活の表現、真実な思考、感動、ものの見方が、ありのままに表現、されることが大切である。見たこと、考えたこと、おこつたことを、ありのままに生き生きと力強く書き現わす。これが写生である。

ただ美しいことばを書きつらねたり、いたずらに形を整えたりすることは、真実から遠ざかるだけ、まずい文章といわなくてはならない。

「文は人なり。」ということばがある。文はその人の人格を現わすものである。真実・真実と心に唱えながら表現するところに、文の生命がやく動して来る。

○右の文をよく読もう。全文の速書きの練習をしよう。

真実な生活の表現、真実な
思考、感動、ものの見方が、ありの
ままに表現されることが大切である。

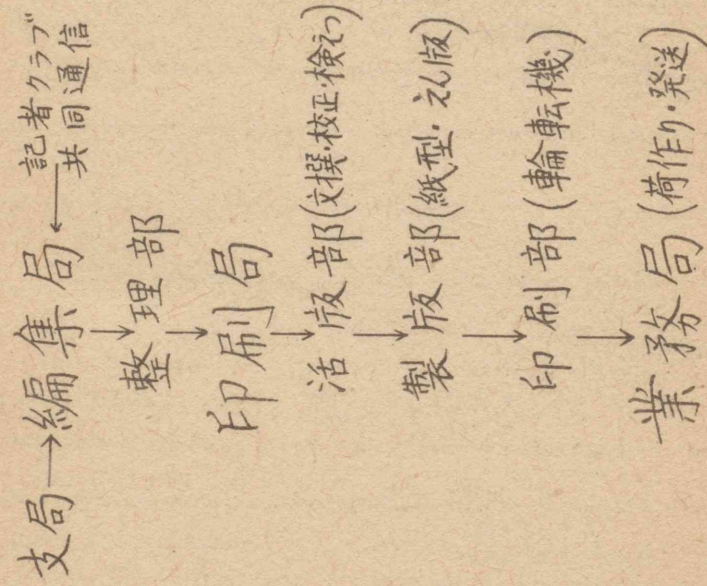
「文は人なり。」ということばがある。
文は人の人格を現わすものである。

真実・真実と心に唱えながら
表現するところに、文の生命
がやく動して来る。

十九 文化の日になんで

— 新聞社のそしき

文化の日になんで、新聞社のそしきを調べてみた。編集局のそしきは学級新聞の編集に参考になると思った。

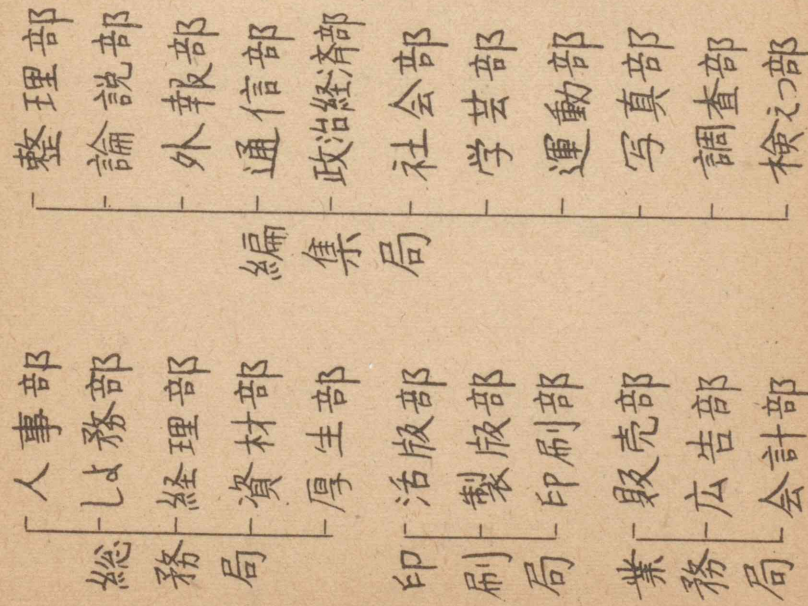


○表示のしかた (表にしめしかた)

表示するには、ひと目見てわかるように、同じ間かくに美しく書かなければならない。

○下の練習ができたなら、右のお手本と表を見て、ほかの紙に書いてみよう。

新聞社のそしき



二十色の研究

色には、白・はい色・黒のような無彩色と、赤・だいだい・黄だいだい・黄・黄緑・緑・青緑・青・青むらさき・むらさき・赤むらさきのような有彩色とがある。色の名をおぼえよう。

また色には、その色のもつ明度がある。明度を知っていると、図案などを書く時に、色を組み合わせるのにつごうがよい。

ポスターや広告やかんばんなど、町を歩いて目立つ色どりに気をつけよう。

色のちがう二色を組み合わせたものをたくさんつくって調べてみるのもおもしろい。

○下の明度の表を書いて、明度をおぼえよう。

筆順

黄 平 二 六 無 二 三 八
有 二 日 三 告 二 二 口

無・有さい色。明度。図案。広告。

明度号	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
	白	黄色	黄だいだい・黄緑	だいだい		緑	赤・緑青・青	赤むらさき	青むらさき・むらさき		黒
		はい色									

二十一 格言を集めよう

格言とは、教えることばをいう。

東西古今の偉人の格言を集めよう。そして自分の生活の道しるべにしよう。

○下のお手本を見て、字くばりと字のつながりに気をつけて書いて見よう

○できたら、左のお手本を見てほかの紙に書いてみよう。

○自分の集めた格言も、ほかの紙に書いてみよう。大きな紙に書いて、自分のへやにかざろう。

ペンにはけんりくあり。

節制と労働とは、人の二大徳である。

美は精神の健康である。

東京より日本は廣い。日本より頭

の中は廣い。

親切は、社会を結合する黄金のくさりである。

自分の意志を發表することは、自由人の権利である。

人の短所をいふなかれ。おのれの長所をとくなかれ。

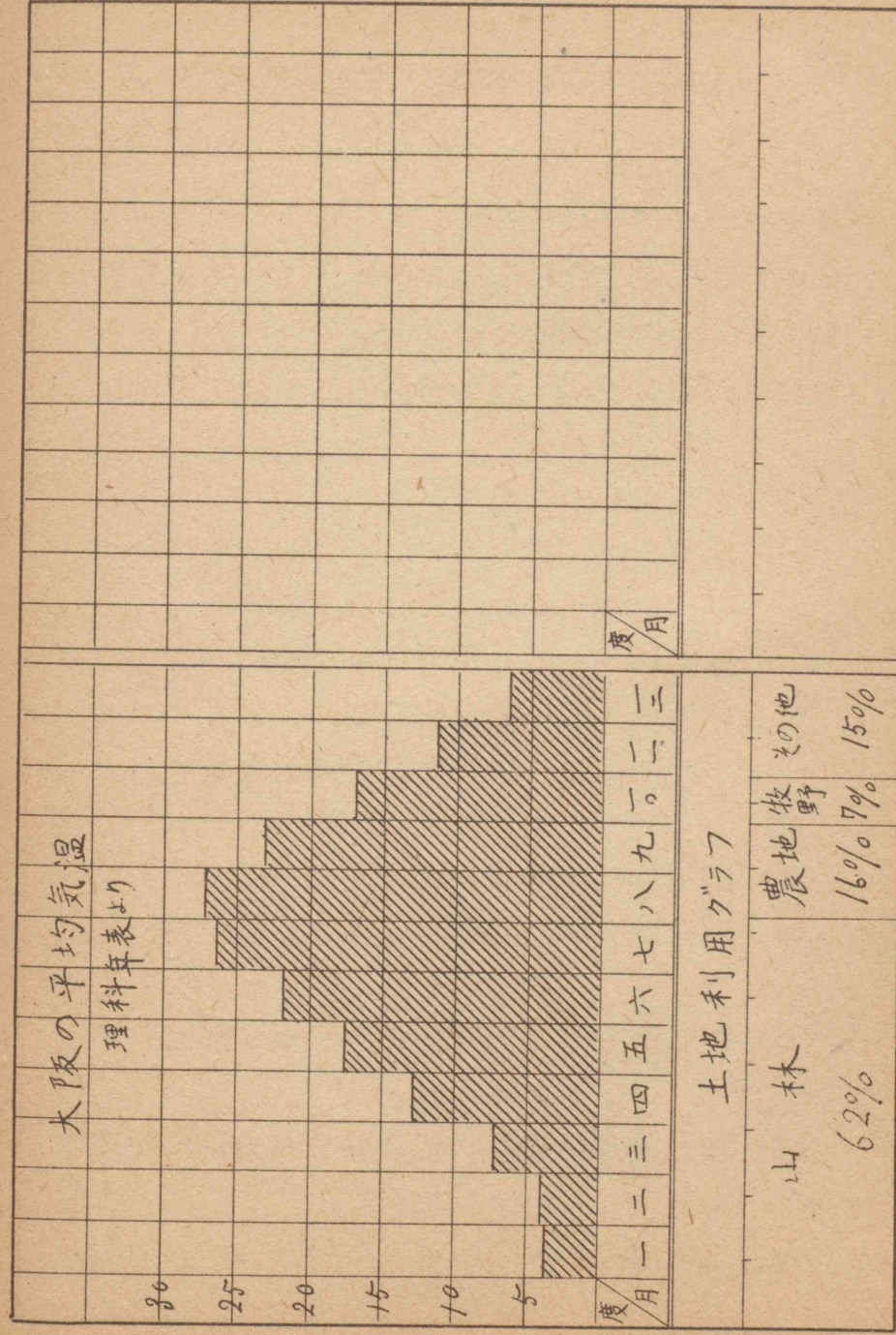
二十二 グラフの書き方

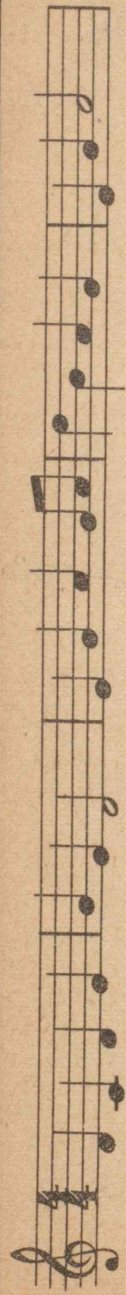
いろいろの統計表から、目で見ではつきりわかるようにするためにグラフを書くことが多い。グラフのいろいろのつくり方や、どんなものにもどの表わし方を使つたらよいか考えよう。グラフには説明の字や必要な数字をはつきり書くことがたいせつである。

○グラフのいろいろ

1. 棒グラフ 棒であらわされたグラフ。比較するのに使われる。
2. 折れ線グラフ 変化をみるのによい。
3. 帯グラフ 全体を帯の長さで現わしたもので、部分の割合を知ることができる。
4. 円グラフ 全体を円で現わしたものの。
5. 正方形グラフ(面積グラフ) 割合を正方形の大きさで現わすもの。
6. 点グラフ 地図の中などに点の数によって現わすもの。
7. そのものを現わす絵の形の大小や数で現わすもの。

まだいろいろなものがある。くふうしよう。





二十三 音楽によく

出ることば

○ 音楽の要素

- 1. 動律 (リズム)
- 2. 旋律 (メロディ)
- 3. 和声 (ハーモニー)

○ 拍子

二・三・四拍子

○ 音程

○ 音階

ドレミファソラシド

○ 楽譜

音符 (全・二・四・八分)

音符)

休止符 (全・二・四・八)

分休止符、附点休

止符)

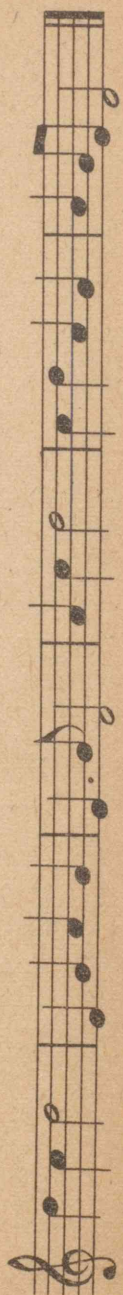
拍子記号 ($\frac{2}{2}$ ・ $\frac{2}{4}$ ・

$\frac{3}{4}$)

調号 (ハ・ト・ニ・ヘ・)

長調・短調)

○ 略号



“どういふことが どういふしるしが
考えながら書こう。”

音楽要素 動 せん律

和声 四拍子 全音ふ

音程 音階 拍子記号

八分休止ふ 長調短調

調号 楽ふ 略号

二十五 文字のくせと書風

人には、字を書く時に、いろいろなくせや、
書風（書きぶり）がある。

- 右上りのくせ
- 右下りのくせ。
- まがるくせ。
- ぎょうが上ったりさがったりするくせ。
- 字と字の間がつまったりあいたりするくせ。
- 角ばった書き方をするくせ。
- まるまつた字を書くくせ。
- うち側をせまく、ひきしめて書く書風。
- うち側をひろく、ゆつたりと書く書風。
- 変化をおもんずる書風。
- 素ぼくさを尊ぶ書風。
- いろいろな職業にあつた書風。

練習をつづけていくうちに、自分の気持によ
く合つた字がうまれてくる。悪いくせをなおし、
心持にぴったりする書風を生み出そう。

いろいろな書風の字を練習し、最後に自分の好きな書風で
書いてみよう。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

二十七 対話—人形しばい

対話は二人の人の話をいう。対話を書く時には、「」を使って現わす。人の話しことばであることがわかるように、「」をはつきり書こう。

ふつうの文の中に、人の話をいれるときには、行をかえて、人の話であることをはつきりさせる。

○「」の使い方

1. 人の話を現わす。
2. ふつうの文の中で、話でなくとも、とくにはつきり現わしたい場合に「」を使うこともある。
3. 人の話の中に、ほかの人のことばをいれる時には『』を使う。

○人の話をいれた文を書いてみよう。

○対話だけの文も書いてみよう。対話劇に使えるようにくふうしてみよう。

「詩も絵も音楽もある。喜びや、悲しみや、伝説、歴史やをぶ台にあらわそうとする望みもあるのだ。」

「でも、生まれた人間のほうがうまくやれるし、それに便利でしょう。」

「便利が不便だけで物事を考えないところに、人間の美しさや、おもいよすがが生まれてくるのだ。」

二十八類字集め

よくにている字を集めよう。にている字を練習することは、筆順の練習にも、字のつくりにも、字の形の練習にも、字をはつきりおぼえるためにも役立つ。

- へんが同じで、つくりがちがうもの。
- つくりが同じで、へんがちがうもの。
- 同じ発音で意味のぜんぜんちがうもの。
- へんもつくりもちがうが、よくにているものがえやすいもの。

つきにいくつか例をあげてみよう。このほかいろいろさがしてみよう。

設	説	飯	飲	郡	群
栄	營	功	効	績	積
読	続	織	職	型	形
詞	詩	季	委	健	建

練習の左かわに楷書で、右かわに行書で書く。

設	説	飯	飲	郡	群
栄	營	功	効	績	積
読	続	織	職	型	形
詞	詩	季	委	健	建

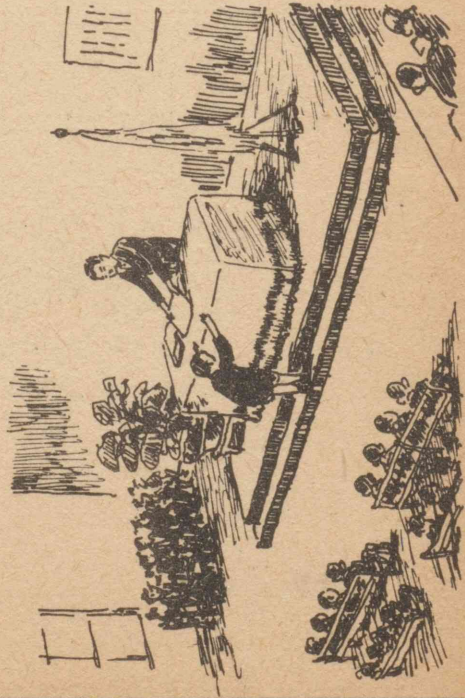
二十九 卒業生を送る歌

卒業式も間近にせまった。卒業生を送る最上級生として、りっぱな式にするようによく歌を覚えよう。

○白紙に書く

白紙に書くには、つぎのようなことに注意して書くことがたいせつである。

1. はじめに全体がうまくはいるように、どのくらい大きさに書けばよいか考
える。
2. 行がまがらないように中心線を
考えながら書く。
3. 行と行の間が同じになるように
書く。
4. はじめの字が、上つたり下つたりしないように
そろえて書く。



卒業生を送る歌

ほたけの光	まきの雪
をみ読む月日	かきぬつつ
いしが年も	まきのとを
あけぞはは	別れゆく。
さまるもゆくも	陽うと
かたみに思ふ	ちまぎの
心のほしを	ひまに
たまごばが	歌うが。

三十 最上級生になる
 卒業式で、六年生を送ると、
 いよいよ最上級生となる。何だ
 かゆめのようだ。えらくなるよ
 うな気がして、とてもうれしい。
 しかし、その半面、何となく
 不安なような気もする。はたし
 て最上級生として、自治活動や
 研究やそのほか下級生をうまく
 指導できるだろうか。
 熱と意気。誠の心をもつてす
 べての事に当れば、必ず解決
 の道があると確信する。地域の
 代表として、班の委員として、
 実のある生活を築いていきたい。

右の全文をほかの紙に書いてみよう。
 最上級になる感想を作文しよう。

熱と意気。誠の心をもつ
 てすべての事に当れば、必
 らず解決の道があると確信
 する。地いきの代表として、
 はんの委員として、実のあ
 る生活を築いていきたい。

10 小国 541
春陽

昭和二十五年 月 日 印刷
昭和二十五年 月 日 発行

小学 書き方(五年)

総頁 六四頁
定價 四角

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE)

著者 西 脇 吳 石
代表者 西 脇 吳 石
東京都中央区日本橋通三丁目八番地
発行者 株式会社 春 陽 堂
代表者 和 田 欣 之 介
東京都板橋区志村町五番地
印刷者 凸版印刷株式会社
代表者 原 喜 平

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

発行所 株式会社 春 陽 堂

電話日本橋〇〇五二・四八四八
振替東京一六一七番

本書の著作にあつた人

東京学芸大学教官
同 同 同 同 同
表紙 紙
挿絵 石 井 明 雄 郎
西 脇 吳 石
栗 原 静 一
櫻 場 一 雄
木 島 孝 治
武 藤 重 子
龜 岬 嘉 子
倉 田 三 郎
浜 野 政 雄

広島大学図書

0130449958

